

秋の全国交通安全週間にできる事

秋の全国交通安全週間（9月下旬から行われる）に高校生としてできることは多くあります。交通安全の意識を高めるため活動に参加したり、地域社会に貢献したりすることで、自分自身だけでなく周囲の安全にも寄与出来ます。以下のアイデアを参考にしてみよう。

1 学校や地域での啓発活動

- **ポスターやチラシの作成**：交通安全をテーマにしたポスターやチラシを作成し、学校内や地域の掲示板に貼る。
- **SNSでの情報発信**：交通安全に関するメッセージや、交通ルールの重要性を広める。

2 ボランティア活動

- **通学路での見守り活動**：地域や学校の街頭指導に参加し、朝や夕方の通学時間帯に見守りを行う。
- **反射材配布**：地域のイベント等に参加し、自転車や歩行者の安全性を高める反射材やライトを配布する。

3 交通ルールの実践

- **模範となる行動**：自分自身が交通ルールを守ることで、友達や家族に良い影響を与える。
 - * 雨の日の傘さし運転をしない。
 - * スマホでの音楽を聴きながら、操作しながらの「ながら運転」をしない。
 - * 自転車のヘルメット着用。
 - * 歩行者として横断歩道を渡る際に手を挙げる。
 - * 夜間は反射材やライトを使用する。
- **自転車点検活動**：自転車のブレーキやライトの点検を行い、安全な状態で使用できるようにする。
- **安全確認行動**：一旦停止で確実に止まり、左右をしっかりと確認する。また、交差点での大型車の巻き込みに遭わないようにする。



4 イベントへの参加

- **交通安全教室への参加**：地域や学校で行われる交通安全教室に参加して、知識を高める。
- **地域パトロールや清掃活動**：通学路の安全確保のため、危険個所の確認や清掃を行う。

5 友達や家族への呼びかけ

- **話し合いの機会を作る**：友達や家族と交通安全について話し合い、みんなで気を付けることを決める。
- **交通事故防止の注意喚起**：特に自動車を運転する家族に、シートベルトの着用や飲酒運転防止を呼びかけや長時間運転の際に休憩を促す。

実際に行動する際のポイント

- 小さなことでも続けることで大きな効果が生まれるので、継続して取り組む。
- 地域の大人や学校の先生と相談して、サポートを得ることで活動がスムーズになる。

これらの取り組みを通じて、高校生として地域の交通安全意識向上に貢献できると思います！皆さんはどの活動に興味がありますか？興味のあることからチャレンジしてみてください。穴高生は自転車乗車中の違反検挙数が、昨年度1年間、そして今年度6月現在まで0件です。穴高は、交通ルールをしっかりと守る学校として知られています。今後も、その評価を崩すことなく、交通ルール順守を心がけて下さい。